

## 履修科目一覧表

	授業形態	教育科目名	担当教員	科目内容	単位数	週授業時間数		時間数
						1年次		
						前期	後期	
専攻科	◇	建築士特別講座 計画	赤城 忠男	建築士試験の「計画」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。	4	4		60
	◇	建築士特別講座 法規	片山 茂樹	建築士試験の「法規」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。	4	4		60
	◇	建築士特別講座 構造	植田 晋也	建築士試験の「構造」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。	4	4		60
	◇	建築士特別講座 施工	小椋 康善	建築士試験の「施工」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。	4	4		60
	◆	建築士特別講座 製図	赤城 忠男 湯浅 康生 高尾 光俊 高木 宣徳	"建築士試験の「製図」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、設計演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。	4	8		120
	◆	デザINSTAジオ (自由研究)		取組むテーマを各自で設定し、これに基づく模型、家具、工作物等の作製に取り組むほか、設計競技会への参加を通じて社会との接点を持つことで、社会における建築の役割と重要性を学ぶ。	12		24	360
	◆	インターンシップ (企業研修)		インターンシップ等	4		8	120
必要修得単位数・時間数					36	24	32	840

◇必修講義科目    ◆必修実習科目

## 講義内容

授業科目	建築士特別講座 計画				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	建築学科専攻科	前期	必修	講義	4単位
1. 担当者	赤城 忠男 実務経験：住宅会社勤務				
2. 授業目的	建築士試験の「計画」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。				
3. 達成目標	模擬試験にて、建築計画 15 点以上を目指す。				
4. 授業時間外に必要な学修	間違えたり自信のなかった問題について、理解できるまで復習すること。				
5. テキスト	「二級建築士学科 計画」 建築資料研究社				
6. 参考書	「二級建築士学科 計画 問題解説集」 建築資料研究社				
7. 成績評価	模擬試験、受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	建築計画とは、建築士試験の傾向と対策				
2 回	気候、伝熱・結露				
3 回	日照・日射・採光				
4 回	音響、色彩				
5 回	空気調和設備				
6 回	給水設備、排水・衛生設備				
7 回	電気・照明設備、消火・防災設備				
8 回	建築設備 まとめ				
9 回	建築史				
10 回	計画一般				
11 回	住宅				
12 回	商業建築				
13 回	公共建築				
14 回	地域計画				
15 回	まとめ				
備考					

## 講義内容

授業科目	建築士特別講座 法規				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	建築学科専攻科	前期	必修	講義 実習	4単位
1. 担当者	片山 茂樹 実務経験：建築設計事務所主宰				
2. 授業目的	建築士試験の「法規」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。				
3. 達成目標	模擬試験にて、建築法規 20 点以上を目指す。				
4. 授業時間外に必要な学修	各配布問題集を繰り返し演習（特に間違った問題は数回演習）				
5. テキスト	基本建築関係法令集／編集：国土交通省住宅局建築指導課建築技術者試験研究会／井上書院				
6. 参考書	「二級建築士学科 法規 問題解説集」 建築資料研究社				
7. 成績評価	模擬試験、受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	法令の体系、法律用語の解説、用語の定義				
2 回	面積・高さの算定方法				
3 回	建築申請（中間検査、完了検査、報告、用途変更等）				
4 回	用途地域				
5 回	建ぺい率 容積率 道路関係				
6 回	採光、換気、シックハウス等				
7 回	構造関係				
8 回	防火関係				
9 回	工作物				
10 回	関連法規 1				
11 回	関連法規 2				
12 回	関連法規 3				
13 回	過去問演習、回答、解説 1				
14 回	過去問演習、回答、解説 2				
15 回	過去問演習、回答、解説 3				
備考					

## 講義内容

授業科目	建築士特別講座 構造				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	建築学科専攻科	前期	必修	講義	4単位
1. 担当者	植田 晋也 実務経験：建築設計事務所勤務				
2. 授業目的	建築士試験の「構造」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。				
3. 達成目標	模擬試験にて、建築構造 15 点以上を目指す。				
4. 授業時間外に必要な学修	間違えたり自信のなかった問題について、理解できるまで復習すること。				
5. テキスト	「二級建築士学科 構造」 建築資料研究社				
6. 参考書	「二級建築士学科 構造 問題解説集」 建築資料研究社				
7. 成績評価	模擬試験、受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	建築士試験の傾向と対策、構造物と力				
2 回	静定構造物の応力				
3 回	静定トラスの応力				
4 回	断面の性質、応力度と許容応力度				
5 回	変形と不静定構造				
6 回	荷重・外力				
7 回	地盤・基礎構造				
8 回	木構造（1）				
9 回	木構造（2）				
10 回	鉄筋コンクリート構造				
11 回	鉄骨構造				
12 回	その他構造				
13 回	構造設計				
14 回	建築材料				
15 回	まとめ				
備考					

## 講義内容

授業科目	建築士特別講座 施工				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	建築学科専攻科	前期	必修	講義	4単位
1. 担当者	小椋 康善 実務経験：建設会社勤務、県立工業高校教諭				
2. 授業目的	建築士試験の「施工」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、問題演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。				
3. 達成目標	模擬試験にて、建築施工 15 点以上を目指す。				
4. 授業時間外に必要な学修	間違えたり自信のなかった問題について、理解できるまで復習すること。				
5. テキスト	「二級建築士学科 施工」 建築資料研究社				
6. 参考書	「二級建築士学科 施工 問題解説集」 建築資料研究社				
7. 成績評価	模擬試験、受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	建築士試験の傾向と対策、工事契約				
2 回	工事監理・施工業務				
3 回	地盤調査・測量、仮設工事				
4 回	土工事・基礎地業工事				
5 回	鉄筋コンクリート工事（1）				
6 回	鉄筋コンクリート工事（2）				
7 回	鉄骨工事				
8 回	コンクリートブロック工事、木工事				
9 回	防水・屋根工事				
10 回	左官工事、タイル・張石工事				
11 回	塗装工事、建具・ガラス工事				
12 回	内装・断熱工事、改修工事				
13 回	設備工事				
14 回	用語・機械、積算				
15 回	まとめ				
備考					

## 講義内容

授業科目	建築士特別講座 製図				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	建築学科専攻科	前期	必修	講義	4単位
1. 担当者	赤城 忠男 (実務経験：住宅会社勤務)、湯浅 康生 (実務経験：設計事務所勤務) 高尾 光俊 (実務経験：設計事務所勤務)、高木 宣徳 (実務経験：建設会社勤務)				
2. 授業目的	建築士試験の「製図」分野について基礎から応用まで総合的に講義し、設計演習を通して資格取得とより深い知識の習得を目指す。				
3. 達成目標	時間内に作図を完成させて、課題の要求に大きな相違がないこと。				
4. 授業時間外に必要な学修	エスキスに時間がかかる者は、繰り返しプランの練習をしてコツをつかむ。				
5. テキスト	「二級建築士製図試験対策 課題対策集」 建築資料研究社				
6. 参考書					
7. 成績評価	模擬試験、受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	建築士試験の傾向と対策、課題の考え方				
2 回	作図トレース演習 (1)				
3 回	作図トレース演習 (2)				
4 回	作図トレース演習 (3)				
5 回	エスキス演習 (1)				
6 回	エスキス演習 (2)				
7 回	エスキス演習 (3)				
8 回	課題演習 (1) (作図目標時間の達成)				
9 回	課題演習 (2)				
10 回	課題演習 (3) (エスキス目標時間の達成)				
11 回	課題演習 (4)				
12 回	課題演習 (5) (設計主旨の練習)				
13 回	課題演習 (6)				
14 回	模擬試験				
15 回	まとめ				
備考					